

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 29日

事業所名:こどものき しゅしゅ

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		指定基準よりも余裕を持ったスペースの確保を行っている。必要に応じて活動部屋を分けることが出来る状況がととのっている。	・職員間でその日の予定を確認し合い、連携をとりながら場所の確保を行って行く。
	2 職員配置数は適切であるか	6		・最低基準以上の職員体制で行っている。 ・手厚く子どもに支援を行っている。	・職員間で連携をとると共に、子どもの動きを予想してその日の活動や職員配置を決める。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか			・施設は建物の2階にあり、スロープなどは設置されていない。(園としては歩行が獲得されている子どもを受け入れ対象としている。) ・生活空間の中で、写真などの視覚情報を活用することで分かりやすい環境構成を心がける。	・段差や階段をバリアフリー化するためにはどのような行動が必要かをイメージしておき、必要時に迅速に対応出来るようにしておく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1		・最大限に環境を整えているが、施設の老朽化に伴い、室内の雨漏りや天井が抜け落ちる事がある。	・定期的に危険箇所や修理箇所が無いかを確認し、壊れてしまう前に事前に対応できるようにする。 ・毎日の環境整備、消毒については引き続き行っていく。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6		・PDCAサイクルの話を朝の会議で確かめ合う事等を通して、職員間の意識を高めている。 ・活動前の事前協議、活動、終了後の振り返り、活動計画などPDCAサイクルに繋がる活動を行っている。	・朝の会議等を、PDCAサイクルを元に話し合っていく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		・職員会議での情報共有や活動後の反省の時間を設ける事で振り返り次の活動に活かしている。 ・活動前の情報共有、活動、振り返り、活動計画立案とPDCAサイクルが回るように配慮している。	・引き続きアンケート(園、宇治市)を毎年実施すると共に、報告や個別面談、また連絡ノートからの情報を元に把握し、改善に繋げていく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			・保護者待機部屋に閲覧できるようにしている。今後ホームページにも掲載予定。	・2021年度よりホームページでの公表を行う予定。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6		・定期的に受診している。 ・受診を契機に自己点検や、業務内容の確認など、改善に向けた動きに繋がっている。	・引き続き、法人として第三者評価を受け、課題の共有を行い、改善に努めていく。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		・園内研修を定期的に行っている。 ・コロナの為、外部の研修が無くなっている。 ・リモートでの研修参加を行うなど出来る限り研修の機会の確保に努めている。	・リモートの研修などにも活動して、職員の質も向上を図っていく。 ・それぞれの資格、専門性に見合った研修の受講を推進していく。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10	6		・相談支援事業所と連携を取りながら定期的にモニタリングを行い計画に反映している。また半年ごとに保護者との面談を設け、そこで計画の立て直しを行っている。	・引き続き継続して行っていく。
	11	6		・新版K式発達検査などの検査項目をもとに子どもの課題の整理を行っている。ただし、検査として行っているわけではないので、完全に標準化されているとはいきれない。	・新版K式などの定められたアセスメントシートを活用していく。
	12	6		・児童発達支援ガイドラインを踏まえて児童発達支援計画を差育成している。	引き続き現状の対応を継続していく。
	13	6		・児童発達支援計画を作成し、保護者に確認の上、支援を行っている。	・引き続き現状の対応を行っていく。
	14	2		・担任を中心として立案したプログラムを会議の際に共有し、そこでより具体的な内容として深めた上でプログラムを実行している。	・引き続き職員間で活動の内容を吟味し、振り返りで出た意見も参考に活動プログラムの立案を行っていく。
	15	6		・月案をたてると共に、子どもの様子を反省会で振り返り、次の活動の検討を行うことで固定化しないように工夫している。	・引き続き、職員間の情報共有を行っていく。また振り返りの時間を取り、次の活動に活用していき、よりプログラム内容の充実を図る。
	16	6		・子どもの状況を把握し、個別活動と集団活動を組み合わせる活動を行っている。	・引き続き行っていく。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		・毎朝の会議で全体共有をしている。	・引き続き毎朝の会議での全体共有を行っていく。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		・活動後に必ず反省の時間を設け、次回の活動に生かしている。	・引き続き振り返りの時間を設け、朝の会議で改善点や支援方法を確認し合う事で職員間の情報共有に繋げる。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		・活動後に簡潔に個人記録を残している。	・引き続き日々の子どもの様子をシステムへ打ち込むと共に、振り返りを行い、支援の検証や改善に繋げる。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		・相談支援事業所と連携を取りながら定期的にモニタリングを実施している。また半年に1度保護者との面談の機会を設け、計画を見直している。	・引き続き半年ごとに個別支援計画の作成を行う。また併設する相談支援事業所と連携を行い、3か月モニタリングを参照し、見直しを行っていく。
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	6		・担任や個別配慮としてつく職員等状況に合わせた職員が参加している。	引き続き担任を含めた、担当職員がやり取りを行っていく。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6		・必要に応じて外部との連携をとっている。	・引き続き現状の対応を行っていく。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	1		・医療的ケア児は在籍していない。	・引き続き現状の対応を行っていく。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1		・医療的ケア児は在籍していない。	・引き続き現対応を行っていく。 ・医療的ケア児が来た際をイメージし、すぐに対応できるように体制を具体化しておく。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		・保育所等訪問支援事業と連携を取りながら、情報共有を行っている。	・引き続き現状の対応を行っていく。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		・保育所等訪問支援事業と連携を取りながら、情報共有を行っている。また併設する放課後等デイサービスへの移行や、保幼小連携の会議などにも参加している。	引き続き現状の対応を行っていく。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6		・研修等に参加している。	・引き続き、必要に応じて専門機関と連携をとり、助言を受けていく。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	・同建物内に併設することも園との合同の避難訓練や行事等への参加を通して関わる機会を設けている。	・個人情報保護しながら交流を持つ機会があれば行っていく。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	6		・様々な協議会やネットワークサービス事業へ参加している。 ・行政の主催する連携会議や、ネットワーク会議に法人として出席している。	・引き続き積極的に参加していく。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		・毎回の活動後の報告の時間を設ける事や、定期的な個人面談の機会を設ける事で、共通理解を図っている。	・引き続き活動後の報告や連絡帳でのやり取り、メールや電話での相談、半年に一度の個別面談を通して共通理解を図っていく。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6		・親時間の開催や卒園児保護者との交流の場を設けている。	・情勢を見ながら、親時間、OB交流会・勉強会の再開を目指す。 ・半年に一度の個別面談や日々の報告、ノートのやり取りなどで向上を図る。
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		・入園時に事前説明を行うと共に、変更があった際にはお知らせしている。	・現状の対応を行うと共に、変更点があった際には書面と口頭で丁寧に説明を行っていく。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		・半年に一度児童発達支援計画を作成し、親御さんと個別面談を取り、計画の確認を行っている。	・引き続き現状の対応を行っていく。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		・定期的な個人面談だけでなく、電話やメール、連絡帳等のツールを用いて適宜相談を受け対応を行っている。	・保護者の悩みに適切に応じられるよう、必要に応じて職員間で検討し返答を行う。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6		・親の会が設立させていたり、卒園児保護者との交流の場のひなたぼっこがある。	・情勢を気にしながら、保護者同士の連携を支援していけるよう場を設けていく。
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		・子どもや保護者からの意見を、反省会で共有し、対応策を考えている。 ・朝の会議で対処法を職員間で共有している。	・引き続きアンケートや、報告、ノートなどでのやり取りをする事で、頂いたアドバイスを職員間で吟味し、対応を行っていく。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		・園だよりを作成し、適宜発信している。	・引き続き保護者が見やすい園だよりを作成する。 ・次年度よりHPを開設するので、そちらも活用していく。 ・子ども達には何かがある時には、直接口頭で分かりやすく伝える。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	6		・個人情報パスワードのついてるpc上で保管していたり、鍵付き棚で保管している。	・常に今の方法が最善かを模索し、必要に応じて職員間で話し合いながら個人情報の保護に努める。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		・子どもや保護者の様子に合わせて工夫を行っている(電話、メール、連絡帳での対応。絵カードや文字などでの対応。環境を整理する等)。	・引き続き今行ってる対応を行っていく。 ・その都度子どもや保護者が分かりやすい情報伝達の方法を模索していく。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4		・コロナで行い難い現状があると共に、個人情報保護のため、地域の人を招待する事はほぼないが、退所した方を誘い年に2回程お祭りを行っている。また月に1回話の会を設けている。	・情勢を見ながら、個人情報保護を意識した上での地域に開かれた事業運営を行っていく。
41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3		・マニュアルを作成している。 ・様々な状況を想定した避難訓練を月に1回行っている。	・引き続きマニュアルの周知と、現状の対応を行っていく。 ・危機管理研修を実施する。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時などの対応	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		・月に一度訓練を行っている。	・引き続き現状の対応を行っていく。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6		・初回面接で確認を行っている。 ・初回面接に限らず、状況に応じて確認を行い、職員間で共有出来るようになっている。	・引き続き現状の対応を行っていくと共に、職員間の情報共有を徹底していく。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6		・食事は自宅から持参してもらっている。アレルギー対応については指示書を受取対応を行っている。	・食事を提供する場面では、指示書に基づいた対応を行っていく。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		・システムに打ち込み職員間で共有している。 ・振り返りの時間に、今後の対策を話し合うと共に、朝の会議で起こった事や今後の対策を話し共有出来るようにしている。 ・ヒヤリハットの事例集ではなぜそのようなことが起こったのか、解決方法などの要因分析を行い共有を図っている。	・事例が起こった際には記録の徹底を行うと共に、職員会議での情報共有を行う。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		・虐待に関する冊子を回覧している。 ・会議などでも話し合われる機会がある。	・引き続き現状の対応を行っていく。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3		・保護者に対応を確認すると共に、子どもと十分にやり取りを行った上で行う流れになるが、身体拘束はほぼ行っていない。	・引き続き現状の対応を行っていく。